
僕.....憲盛 小豪族やってます

深谷市民

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕……憲盛 小豪族やつてます

【Nコード】

N5186Y

【作者名】

深谷市民

【あらすじ】

僕、戦国の世に生まれたつばいです。ええ、いわゆる転生と呼ばれるものでしょうか。

何故だか前世の記憶はハッキリとあり、死んだということも認識しているのですが、死んだ時のことを覚えてません。

まあ、これはどうでもいいことなので放置しておくとして、これからどうしようか。戦国なんて全く知らないし、興味ないから何をしようか迷うところです。

当面の目標はプリンを開発して歴史を変えること。最大目標は何

か合戦で活躍して名を残すこと。

最終目標はハーレム形成してニートやりたいです。

拝啓、未来に住む両親へ

拝啓

十五の君へ……あ、間違えた。父、母へ。

僕が死んでから如何でお過ごしでしょうか？

多分、元気で日々を送っていることだろうと一ヶ月に一回くらい怒りを込めて思い返しています。

ええ、一回だけです。死んだあの日、僕の取置きしておいたプリンを食べた恨みです。思い知りやがれ。

それはそうと、少しだけ読んで頂ければ、お分かりになったと思います。一人称が俺から僕に変わってます。

何故かという、そういう環境にいるためですか言いようがありません。

具体的に言うと、ムキムキの御兄さんといオッサンにあらゆる意味で矯正されました。

ム力つく野郎なのですが、しっかりとしていれば優しい人なので歯向かえません。

オッサンの他にも三人、僕に親しい者がいます。その三人も中々良い人で濃いです。内、一人は年齢不詳の女性です。

とても麗しい人で僕の心を華麗に盗んでいききました。僕もお返しに盗んでやろうと口説いてみました。そしたらんで相手にされませんでした。

どうにも弟感覚で愛でられているようで、それ以上の進展は望み薄です。

なんかその四人は四天王と呼ばれているらしく強いみたいです。

本人たちもそのことに誇りを持って胸を張っています。

痛いなあと思いつながら笑って見たら、オッサンに肉体言語で矯正されました。やっぱり、オッサンだけは嫌いかもしれません。

ああ、大事なことを言い忘れてました。僕は良い所に就職しています。

仕事は何か色んなことをアレすることで、次期当主の若殿をやつてます。

頭が狂ったかと思いでしょうが、これマジもんです。室町時代に転生したつばいです。

最初は室町時代？ 何ソレ？ 状態で過ごすこと五年にして、時代背景が掴めて来ました。

なんか父上が戦乱の世だな……と死んだ目でツートしてるのを目撃し、戦国だと気づきました。

ビックリすることに女性が当主しているところもあるそうです。

ということは、女謙信説が正しいこともあり得そうなので、気になって父上に聞いたところ、誰ソイツみたいな顔をされました。

どうやら上杉謙信はまだ生まれてないらしいです。残念、女性で可愛かったら口説こうと思ったのに……。

代わりにと言っちゃなんですが、女性当主でやっているところは、近いところで勢力拡大している北条早雲という人がいると聞きました。

それを聞いて僕は誰ソイツみたいな顔をしました。

北条といえば時政しか知りません。さらに言えば戦国なんて中学生レベルです。高校は世界史でしたので日本史は壊滅です。

せいぜい記憶にあるのは、桶狭間に大阪の陣に刀狩り。天草の乱に黒船来襲、大政奉還くらいでしょうか。あとシャクシャイン。

どうすればよいのか分からないけど、とりあえず頑張って生きて

いこうと思います。

追伸

プリンが食べたいので、プリンを開発しようと思います。他にも持てる知識を活用して歴史を変えてみようと思画策してます。主に食事とか経済の面で行きます。

ただ、飽き性ですので普通に墮落した生活に転じるかもです。

最後に僕の名前を記します。今生の名前は上杉憲盛と言います。読みは『のりもり』です。冗談でも、『もりもり』とか呼ばないでください。

とても不愉快に思うし、その後のことで胃が痛くなります。何故かと言うと、前に僕のことを『もりもり』とか冗談で言った人が数日後に家ごと消えました。

オッサンに聞いてみたら、無表情で気にかけることではないと、うやむやに躲されました。

勘の良い僕は、オッサンが殺ったと確信し、その忠誠に感動しつつヤンデレを相手にしているような恐怖を抱きました。

結論……オッサン、マジ怖い。

話を戻しまして、僕の名前は上杉憲盛です。姓から分かるように上杉家に産まれました。ということは僕は上杉謙信と同じ血が流れているということです。

つまりはそう、僕も軍神になれるんじゃないかと密か夢を抱いたりしてます。

上杉家は何か二、三家に分かれているけど先祖が同じなら問題無

いはず。ですので、血に潜む軍神を覚醒させて無双して歴史に名を残してみたいです。

目指すは軍神、最低でも食神の称号を頂きたいとおもっております。初めは將軍を目指していたけど、なりかたが分からないので諦めました。

そして、最終的な目標としては女の子を侍らして、のんびりニートを試してみたいものです。

とまあ、こんな感じです。仕事は少し大変ですが、毎日をそこそこ有意義に過ごしています。

余談ですが、何だか別の上杉家の所為によって河越まで合戦しに行くみたいな話が流れてます。いつ出陣するのかはまだ不明で、今年中とも来年とも囁かれています。

もしかしたら、この僕も合戦に赴くことがあるかもしれません。その時は死なない程度に動いて軍神の始動を知らしめてみようかと思っています。

なんか手紙にしては長くなりましたが、こころで締めさせてもらいます。どうか、お元気で過ごしてください。

追々伸

プリン材料は卵と牛乳と砂糖で、蒸し焼きにすれば完成ですか？

拝啓、未来に住む両親へ（後書き）

地元の武將を応援しようと思って書いたが、資料が何処にあるのかよく分からないほどマイナー過ぎる。

よって、自然とほぼオリ主に捏造史実となっていくます。

とにかくマイナー、戦極キャラはあまり関わらない予定で、一話の話が短くなります。

ホント誰得なんでしょうね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5186y/>

僕.....憲盛 小豪族やってます

2011年11月17日21時39分発行